

## 6.7 沖縄県議会選挙

### 玉城デニー知事の県政与党が多数派を維持

### 辺野古新基地反対の不変の民意が示された！

### 与党 25、野党 19、中立 4

6月7日投開票の県議会選挙は、定数 48 のうち、自民 19、公明や旧維新 4 に対し、玉城デニー知事を支持する県政与党の候補者が 25 人当選し、県議会の多数を維持した。

		2020	2016
<与党>	社民	4	6
	社大	2	3
	共産	7	6
	立民	1	0
	にぬふあぶし	1	0
	無所属	10	12
	計	25	27
<野党>	自民	17	14
	自民系	2	1
	計	19	15
<中立>	旧維新	2	2
	公明	2	4
	計	4	6

### 与党は共産7、社大・社民6、無所属 10 ほか

当選者から見える特徴は、①4年前の選挙に比べて、与党が2議席減らし野党・中立が2議席増やしたことにより、県議会が与野党伯仲になって来た。議長を与党から出すことになれば 24:23 となり、玉城県政にとっては薄氷を踏むような議会運営を迫られることになる。②与党内の勢力比を見ると、社大・社民の微減、共産の微増、翁長雄志知事の遺志を継ぐ「にぬふあぶし」および立民の県政への登場、最大勢力の無党派無所属。対する非与党では、自民の増加、公明の減少という特徴がある。公明党はコロナのために選挙運動ができないとして、当初4人予定していた候補者を2人辞退した。

さらに、全部で 13 ある選挙区ごとに当選者の内訳をみると、①無投票当選の4選挙区のうち、名護市区、うるま市区、石垣市区は与野党同数、浦添市区は与党 3:野党 1。②与野党同数の選挙区は、豊見城市区、糸満市区、宮古島市区、国頭郡区の4か所、③与党系が多数当選した選挙区は2か所で、中頭郡区4:1、那覇市・南部離島区6:5で、計4議席勝ち越し、④逆に、与党系が少なかった選挙区は3か所で、沖縄市区2:3、宜野湾市区1:2、島尻・南城市区1:3で4議席負け越し、という結果だった。

その結果、全体として対前回比で、与党議席の減少、野党の議席増となったが、玉城デニー知事を支持し辺野古新基地に反対する与党が過半数の 25 議席を占めた。

投票率は史上最低の 46.96%。期日前投票が過去最多の 19.38%に達したが、コロナや荒天の影響か、当日の動きが鈍かった。コロナ感染の影響で通常の生活が大きく壊され、選挙運動のテーマが生活、福祉、医療、教育、経済活動に焦点があてられた中で、県民の選択はやはり明確に、県政与党 25 人、辺野古新基地反対！との意思表示をした。

選挙前、防衛相の河野は「県議選は辺野古に影響を与えない」と高慢な態度を見せていたが、辺野古 NO！の沖縄の変わらない民意が示されたのである。

### 「島尻・南城市区」の検証

確かに、自民党の議席は増えた。しかしこのことは、自民党支持の有権者が増えたことを意味しない。今回の県議選の象徴的な選挙区となった「島尻・南城市区(定数4)」を例に見てみよう。投票率は、県平均より約 3%余り高い 50.03%。

<2020 年>		<2016 年>	
①座波 一(自民)	11,727	①座波 一(自民系)	14,067
②大城憲幸(旧維新)	8,875	②大城憲幸(維新)	8,758
③石原朝子(自民)	8,848	③大城一馬(社大)	8,165
④玉城武光(共産)	8,710	④玉城武光(共産)	7,843
⑤大城一馬(社大)	6,833	⑤新垣安弘(無所属)	7,804
⑥大城民夫(無所属)	6,431	⑥大城民夫(無所属)	5,643
合計	51,424	合計	52,280

玉城知事は何度か島尻地区の選挙区に入り応援するなど、共産、社大、にぬふあぶしの 3 人の与党候補の当選に力を注いだ。残念ながら当選一人、落選二人の結果になった。この与党候補三人は、前回 4 年前の県議選と同じ顔ぶれだ。今回の自民党の石原朝子は前回の新垣安弘(現八重瀬町長)の後継とされたので、今回の 6 人の候補者は事実上、前回の 6 人と同じ構図だった。2016 年の当選者は、自民、維新、社大、共産各一人。2020 年は、自民二人、維新系、共産となって、沖縄社大党の委員長・大城一馬が落選した。

三人の与党票は、2016 年、獲得票数 21,651、合計得票率 41.41%。2020 年、21,974、42.73%。総得票に占める割合は、1.32%増えた。対して、二人の自民党票は、2016 年、21,871、41.83%。2020 年、20,575、40.01%で、1.82%減少した。2016 年は、自民党 2 人の票が与党 3 人の合計票をわずかながら上回っていたが、2020 年は逆転し、与党票が自民党票を約 1.8%上回ったのである。従って、自民党支持者が増えたわけではない。逆に、有権者は自民党から離れて行っているというのが真相なのである。

しかし、ほぼ同じような与野党の得票率を見れば明らかな通り、この選挙区で、与党 3 人は無理だ。今回のような選挙における「敗北」を避けるためには、与党内の党利党略を離れ、自民、維新と争って二人を確実に当選させるという選挙戦略を与党として、オール沖縄としてしっかり立てなければならない。

### 「辺野古について理解が進んだ」というウソ

沖縄自民党は選挙前、はじめて、辺野古新基地「容認」を公約とした。しかし、自民党候補は誰も辺野古については口を閉ざした。もし自民党が公約通り「辺野古新基地容認」を訴えて選挙運動を進めたならば、県民投票と同じように、「賛成」「どちらでもない」を合わせた 4 分の 1 程度の支持しか得られなかったであろう。自民党候補が語ったのはコロナ対策や経済、県政批判、中身のない「女性の声を届ける」等だった。

ところが選挙が終わり、自民党が議席を増やすと、菅官房長官は「辺野古について理解が進んだ」と言うのだ。安倍、菅はじめ政府自民党の人たちは自分達に都合のいいことしか見ない。今度の県議選で、玉城デニー知事を支持する与党が過半数を占めたという最も重要な事実を無視するのである。

翁長雄志知事を誕生させた2014年の知事選以来、今日まで足かけ7年にわたって、4選挙区すべてで勝った2014年と3選挙区で勝利した2017年の衆院選、2016年の県議選、伊波洋一さんの2016年参院選、2018年玉城デニー知事選、2019年の屋良朝博さんの衆院3区補選、2019年高良鉄美さんの参院選、そして歴史的な2019年県民投票による72%にのぼる意思表示を経て、今回の県議選でまた、辺野古新基地反対！の沖縄の民意が示された。

日本政府・安倍内閣の閣僚と中央の官僚、衆参両院の国会議員はこの沖縄の変わらぬ民意を受け止めよ。主権在民という民主主義の根幹を軽んじる事は政治的犯罪であるという自覚を持つべきだ。そうでない限り、経済や技術がいくら発展しても、日本の政治は遅れたままなのだ。

## 6.1 平和市民連絡会对県交渉

### 防衛局の設計変更申請にNO!を

6月1日、沖縄県庁で、辺野古新基地建設と設計変更申請をめぐって、平和市民連絡会による県に対する申し入れと話し合いが行われた。事前に提出されていた要請事項に対し、まず県側が回答し、その後意見交換が行われた。市民側の参加は8人。県側は金城知事公室基地対策統括監の他、土木整備統括監、辺野古新基地問題対策課長、海岸防災課長らが出席した。

以下、県側の回答をまとめる。

①沖縄防衛局は4月21日に設計概要変更申請書を提出した。県は5月25日に56項目の補正要求を行なった。防衛局の回答が届いたら告示と縦覧を行う。3週間の縦覧期間内に利害関係を有する者は意見を提出できる。縦覧後、地元名護市や関係機関から意見を聞き、内容審査に入る。縦覧場所は名護市と調整し決める。県のホームページにも公表する。

②3月の関与取消訴訟の最高裁判決を受けて、国交相の裁決により県が行った埋立承認取消処分が取り消されたということを前提として対応するが、国交相の裁決は違法であり、引き続き抗告訴訟において裁決の取消に向けて全力をあげる。

③大浦湾の深度70mより深い地点の強度試験を国は実施していないとしていたにも拘わらず、強度を示すデータが存在していたことは承知している。護岸における各地盤の安定性についても追加記載すること等の補正要求を行なった。補正後の書類が届き次第内容を確認し、地質の再調査の必要性についても厳正に審査する。

④大浦湾内で、ジュゴンの鳴音が複数回にわたり確認された。県は、防衛局に対してジュゴンを保護する観点から、埋立事業を停止し、ジュゴンの来遊状況や生息環境等を改めて確認するよう文書で求めた。

⑤<金城統括監まとめ>知事公室としては、知事公約である辺野古に新基地は造らせない、あらゆる手法でということ県庁全体でやっていくことは変わらないので、今後も支援の方をよろしく願いたい。また、いろいろ提案があれば、可能なものについては取り組んでいきたい。